

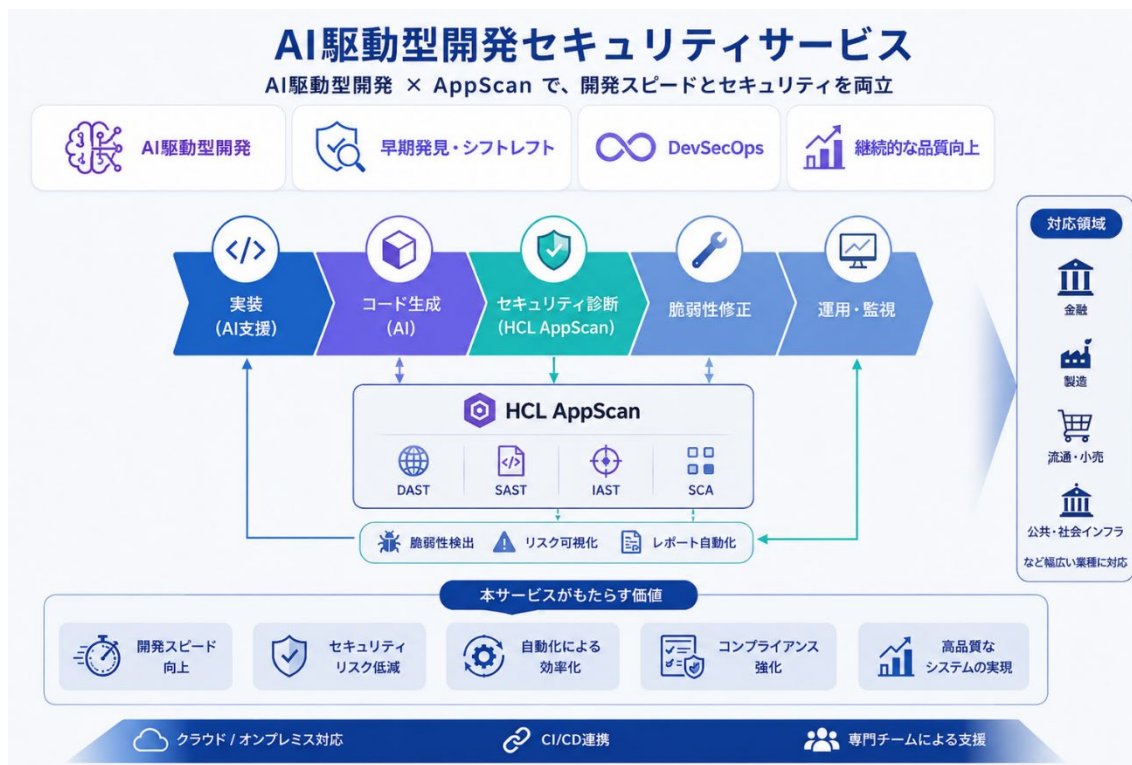
2026 年 8 月 17 日

株式会社 CAICA DIGITAL
 代表取締役社長 鈴木 伸
 (コード番号: 2315 東証スタンダード)
 問合せ先:
 代表取締役副社長 山口 健治
 Tel 03-5657-3000 (代表)

「AI 駆動型開発セキュリティサービス」を提供開始

～HCL AppScan を活用して AI 駆動型開発のセキュリティ品質を向上～

株式会社 CAICA DIGITAL (代表取締役社長 鈴木 伸、以下「当社」) は、AI を活用したシステム開発の効率化とセキュリティ品質向上を両立する「AI 駆動型開発セキュリティサービス」の提供を開始したことをお知らせいたします。



1. 背景

近年、生成 AI 技術の進展により、システム開発の現場では AI を活用した要件定義、設計、コード生成などが急速に普及しています。一方で、AI が生成したコードやアプリケーションに対するセキュリティ対策の重要性も高まっており、開発スピードと品質・安全性を両立する仕組みが求められています。当社はこれまで培ってきたシステム開発ノウハウと AI 活用技術を基盤に、アプリケーションセキュリティテストソリューション「HCL AppScan」を活用し、AI 駆動型開発環境に適したセキュリティサービスの提供を開始いたしました。

2. AI 駆動型開発セキュリティサービスについて

本サービスは、AI を活用したシステム開発プロセスとアプリケーションセキュリティ診断を統合し、開発初期段階から継続的にセキュリティ対策を実施する DevSecOps^{※1} の考え方を取り入れた総合サービスです。

開発ライフサイクル全体において、AI による開発と HCL AppScan による脆弱性診断を組み合わせることで、効率的かつ安全なシステム開発の実現を支援します。

3. サービスの特長

① AI を活用した開発プロセスの高度化

要件定義、設計、実装などの各工程において AI を活用し、開発効率向上と品質向上を実現します。

② AI 生成コードのセキュリティ診断

AI により生成されたコードやアプリケーションに対し、HCL AppScan を活用した脆弱性診断を実施し、セキュリティリスクの早期発見を可能にします。

③ DevSecOps 環境の構築支援

開発工程の早い段階からセキュリティ対策を組み込む「シフトレフト」^{※2} の考え方を取り入れ、継続的なセキュリティ管理体制の構築を推進します。

④ 継続的な品質向上

開発・診断・改善のサイクルを継続的に実施することで、システム全体の品質向上および運用リスク低減に貢献します。

4. 想定される利用領域

本サービスは、金融機関、製造業、流通業、公共分野をはじめ、大規模システム開発や DX 推進に取り組む企業・団体を対象として提供してまいります。

特に、生成 AI を活用したシステム開発の導入を進める企業に対し、安全性と開発効率を両立する開発基盤として提案してまいります。

5. 今後の展開

当社は、AI 駆動型開発における開発サービスの拡充とセキュリティソリューションの強化を進めるとともに、企業の DX 推進およびシステム開発高度化に貢献してまいります。

今後も AI 技術とセキュリティ技術を融合したサービスの提供を通じて、お客様の競争力向上と安全なデジタル社会の実現に貢献してまいります。

6. 業績への影響

本件による当社連結業績への影響は現時点では軽微であります。

以 上

※1 DevSecOps : Development (開発)、Security (セキュリティ)、Operations (運用) を一体化し、システム開発の初期段階から継続的にセキュリティ対策を実施する開発手法。

※2 シフトレフト : システム開発の初期段階からセキュリティ対策や品質管理を実施し、問題の早期発見・早期対応を図る考え方。